

## 第7回 宇宙開発戦略本部 議事概要

日 時：平成25年1月25日（金）9：37～9：50

場 所：官邸2階 小ホール

出席者：安倍総理、菅官房長官、山本内閣府特命担当大臣（宇宙政策担当）、他全ての国務大臣、加藤副長官、世耕副長官、杉田副長官、島尻内閣府政務官、佐々木副長官補、桜井副長官補、兼原副長官補、松元内閣府次官、川口宇宙開発戦略本部事務局長、西本宇宙開発戦略本部事務局長代理、明野宇宙開発戦略本部事務局審議官

### 議 事

- (1) 宇宙基本計画について
- (2) 宇宙開発戦略本部幹事会の廃止について

### 議事概要

○ 安倍総理から冒頭に以下のような挨拶があった。

宇宙は、国民に夢と希望を与えるのみならず、国民生活に直結するものである。我が国が置かれた国際情勢や先の東日本大震災での経験を踏まえると、宇宙を活用した安全保障や防災対策の強化が急務である。また、宇宙技術の先端性と産業の裾野の広がりを考えれば、我が国の経済成長のエンジンと位置付けられるべきものである。宇宙の利用は、各国がしのぎを削る競争の場でもある。政府が一丸となって国家戦略として取り組まないと世界に後れを取る。本日審議する「宇宙基本計画」は、宇宙政策の司令塔を設けた新しい体制の下での最初の試金石。関係閣僚におかれては、それぞれの役所の利害にとらわれず、本日決定される基本計画と、お手元の私からの指示に基づき、宇宙政策の推進に取り組んでいただきたい。

○ 島尻内閣府政務官から、資料1「宇宙基本計画（案）」及び資料3「宇宙開発戦略本部幹事会の廃止について（案）」について説明が行われた。

○ 出席者からの発言は以下のとおり。

- ・ 茂木経済産業大臣より、経済産業省としては、宇宙政策において産業振興等の実利用を推進するという点を重視。今後、関係府省やJAXAと連携し、成長戦略の一環として、衛星測位等に関連した新サービスの拡大やアジアを中心とした新興国市場の取り込みなど、今回の計画を実行に移してまいりた

いとの発言があった。

- ・ 下村文部科学大臣より、JAXAが政府全体を技術で支える中核的な実施機関として位置づけられたところであり、各府省の行政目的のためにJAXAを積極的かつ効果的に活用していただきたい。宇宙開発利用全般の取組の規模拡大が進むことを期待している。文部科学省としては、宇宙開発利用は科学技術政策の観点から重要であると考えており、宇宙基本計画を踏まえ、引き続き宇宙開発利用に積極的に取り組んでまいるとの発言があった。
  - ・ 岸田外務大臣より、外務省は、外交・安全保障の観点から宇宙開発利用施策を推進している。宇宙関連条約の適切な実施、新たな国際的な規範作り、並びに宇宙開発及び利用に関する国際協力等、新たな宇宙政策の体制と宇宙基本計画を踏まえて、各府省と連携してまいりたいとの発言があった。
  - ・ 新藤総務大臣より、基本計画に準天頂衛星等の利用によるG空間社会の推進が盛り込まれたことは喜ばしい。G空間は、ナノテク、バイオと並ぶ今後の3大科学技術。G空間とICTを活用して新しい暮らしや安全な暮らしに向けたプロジェクトを立ち上げたい。総務省としてはG空間×ICT推進会議を立ち上げ、実用化に向けたプロジェクトを進める。また、災害時の通信インフラ確保のための技術開発に取り組んでまいりたいとの発言があった。
  - ・ 山本内閣府特命担当大臣（宇宙政策担当）より、担当大臣として総合調整をしっかりと行いたい。JAXAについては、宇宙・海洋開発特別委員会や宇宙基本法フォローアップ協議会などから、宇宙基本計画全般にしっかりと貢献していただきたいということであるのでご協力頂きたい。また、司令塔機能の強化についても自民党の決議にあるので関係各大臣にご協力お願いしたいとの発言があった。
- 最後に、「宇宙基本計画（案）」及び「宇宙開発戦略本部幹事会の廃止について（案）」は全て宇宙開発戦略本部として決定した。山本大臣より、今回の決定を受け、安倍本部長のご指導の下、内閣府宇宙戦略室が中心となり、関係府省連携の下、宇宙開発利用に関する施策を国家戦略として推進していきたいと考えておりますのでよろしくお願い致しますとの発言があった。

（議了）